平成29年度	事務事業評価	表A(平	成28	年度	の実績語	呼価)	記入年月日平成 29	年 4	月 14 日				
事務事業名まかべ幼稚園バス運転委託事業				事第 新規/継続	(区分 継続	担当							
政策体系上の位置付け					単独/補助		所属連 09		0133				
策 政策名 03 豊かな心		3教育・文化づくり)		主要事業マニフェス	7 -	7711 301	まか	べ幼稚園				
	施策名 01 学校教育の充実					未来PJ事業 グループ まかべ幼 合併建設計画事業							
財務会計上0	D位置付け	伽스訌			業期								
予算科目 会計 款 項 目 事業 01 10 04 01 03		一般会計 まかべ幼稚園事業			□→期	間限定の場合、	総投入量を	(3)投入量(の右側に記入				
法令根拠 【Do】 1. 事務事業の現状把握(その1)													
(1)事務事業の概要 (1)事務事業の概要(事務事業の全体像)			10	和	が行う業務	· の内突 • かり	方 . 壬順						
【事務事業の内容】	業の内容】 【担当者が行う業務の手順 送迎するための通園バス2台の運転業務委託。 通園バス2台を市内2業 幼稚園に登降園する園児を送迎する通園バス2台を運転業務を委託し 各々登降園2便、合わせて					担当者が行う業務の内容・やり方・手順 【担当者が行う業務の手順】							
まかべ幼稚園に登降園する園児を送迎る							2業者に運転業務を委託した。2台のバスは、 せて4往復で運行を行った。						
ている。また、平成25年度から職員数の 手についても業務委託している。	か減少により、2	台の通園バスの添え	乗										
段													
(2)事務事業の手段・対象・意図と各指標	指標値の推移												
①手段 (担当者の活動内容)		5動量を表す指標)		単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度				
	送迎バス便数			便	8.0			8.00					
【事業費の内訳】	送迎委託バス便	数		便	8.0	0 8.00	8.00	8.00	8.00				
2台の年間委託料 3,480千円 添乗業務 1,956千円	走行距離数			km	140.0	0 250,000.00	250,000.00	250,000.00	250,000.00				
					0.0	0.00	0.00	0.00	0.00				
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	 ⑤対象指標 (\$	対象の大きさを表す指	(神)	単位	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度				
GAJS (ULK 13 EASSE O CV. 18 USA)		130000000000000000000000000000000000000	313.7	+12	(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)				
+ F)	園児数				81.0		1	50.00					
在園児					0.0		1	0,00					
					0,0	Ť	•	0.00	-				
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		対象における意図の達 を表す指標)	直成度	単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)				
	送迎バス利用園	児数		人	81.0	0 57.00	51.00	50.00	50.00				
園児の安全な登降園が確保できる	送迎バス事故件数			件	0,0	0.00	0.00	0.00	0.00				
				%	100.0	0 100.00	100.00	100.00	100.00				
(3) 投入量(事業費)の推移 ―	27年度	28年度		29年度		30年度	31年度		期間限定				
国庫支出金 千円	(実績)	(実績) C		(計画)	0	(目標)	(目標)) # O	総投入量 〇				
財 県支出金 千円 投事 地方債 千円	0	C			0	(0	0				
業 内 使用料・手数料 千円	0	С)		0)	0	0				
費 訳 その他 千円 入 一般財源 千円	0 5,940	5,937		0 5,937					0 0 5,937 0				
事業費計(A) 千円 人 正規職員従事人数 人	5,940 1.00人	5,937 0.00人		5 2.00人	,937	5,937 0.00人	0.00人	5,937	0				
量件 述べ業務時間 時間 サーバー サーバー サーバー サーバー サーバー サーバー サーバー サーバ	8.00 23	0.00			0.00	0,00		0.00					
トータルコスト(A)+(B) 千円	5,963	5,937	1	5	,937	5,937	7 5	5,937					
28年度事業費 集 13 委託料 5,937	領(十円)					29年段事業9	費 予算(千円))					
a													
費													
の 内													
<u>₹</u>													
	合 計	5,937	7				合	計	5,937				
(4) 当該年度の実施内容 2 ※下記に該当する事業は、年	29年度の事業内容			30年度	の事業内容			ま度の事業内					
※下記に該当9つ事業は、年度ごとに事業内容を記入する													
・ 主要事業													
・市長マニフェスト ・未来PJ事業													
• 合併建設計画事業													

事務事業名 まかべ幼稚園バス運転委託事業 【Do】 1、事務事業の現状把握(その2)	事務事業No.	30104000101	所属課まかべ幼稚園					
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたの	つか? 開始時期ある	らいは5年前と比べてどう。	変わったのか?					
昭和52年4月の創立以来、旧真壁町全域を対象に3台のバスを運行して								
委託に切り替えた。								
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)	からどんな意見や	要望が寄せられているか?	?					
子どもたちの登降園における安全確保が重要であり、園児送迎バスは保護								
(7)前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容								
現状維持								
PO Mais								
【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。								
	項目							
①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意	図することが結果に終	§びついているか?)						
	-							
話びついている まかべ幼稚園の目指す教育方針に合致してい	්ර <u>ි</u>							
妥 ② 公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金:	を投入して、達成する	目的か?)(法定受託事業は	その名称)					
			. 609 11139					
図当である 幼稚園創立時、幼稚園の運営方針がバスによ	る園児の送迎を挙げ	げており、適正である。						
O CEROPI CERTO LA LA LA CAMPITA DE LA CAMPIT	いさい迷しの苦田はち		切けでさないのかの 〉					
③ 成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とある/	くる水準との差異はない	から何か原因で成果回上か	期付でさないのか?)					
向上余地がない 安全登降園をめざし成果を上げており、今後	の向上の余地はない	١,						
④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無	とその内容は?)							
有	1角担も増加するので	▼ 大きな影響が出ること	・も考えられる					
効 【影響有								
⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありま	すか?(市以外の取り)組みも含む))						
(他に手段がある場合) 二 具体的な手段、事務事業名								
家地がない。 園の運営方針から考えても、最も適切で安全	:な通園手段であるの)で、他の手段はない。						
		7 C(10073 PXIO/OV 16						
効 ⑥事業費・人件費の削除余地(成果を下げずに事業費を削除できないか?	やり方を工夫して延	『 「 で 業務事業を削減できな できな	いか?)					
率性 削減余地がない 送迎の距離の減少や、運行台数に変更がない限り、事業費の削減はできない。								
性性が対象が	限り、争未負の別点	れる (さない。						
⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏って)	ハて不公平ではないか	?受益者負担が公平・公正に	なっているか?)					
平 性 <u>公正・公平である</u> 在園児が対象であり、公平公正である。								
【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)							
(1) 1次評価者としての評価結果 (2)	全体総括(振り返り)、反省点)						
①目的妥当性 ■ 適切 □ 見直し余地あり								
②有効性 ■ 適切 □ 見直し余地あり →								
④公平性 ■ 適切 □ 見直し余地あり								
(3) 今後の事業の方向性 (海地原	(本司)		(4) 改革・改善による期待成果					
	答可) の再設定 □] 効率性の改善	(終了・廃止・休止の場合は記入不要)					
┃ □ 有効	性の改善		コスト					
	合ができる [] 連携ができる 丿	削減 維持 増加					
(5) かま か美を中国オストで紹介すべき細胞(除) トスの紹介等								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策			成 維					
			衆 持 ○					
			低					
			F					
			(6)事務事業優先度評価結果					
			成果優先度評価結果					
			コスト削減優先度評価結果					
【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項								
(1) 課長評価 (2)	部長確認及び評	価 (課長評価により、(C、D判定及び確認が必要な場合)					
理 与 確認後 心 証価		•						
000	認欄							
A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出								